

タイ・ボランティア KMITL

留学報告書

学部学科・研究科専攻	農学部食生命科学科		留学時学年	2年
留 学 先	国	タイ	大学/機関	モンクット王工科大学 (KMITL) ラートクラバン校
期 間	2025年2月3日 ~ 2025年2月13日			
	短期		計10日間	

[1] 参加した語学コースの時間数/科目名（受講科目・複数可）

- ・授業時間数：一日中
- ・科 目 名：タイ語、タイ文化

時 間	月	火	水	木	金	土	日
8時～19時	○	○	○	○	○	○	○

[2] 授業内容について教えてください。

（クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等）

- ・日本の文化講座&タイの文化講座を学ぶ。
日本のお菓子（団子・お餅）を実際に作って、自分の好きなフレーバーを実際につけてもらって学生・県知事におもてなしをした。 30人程度
日本クイズ、日本のスポーツ（けん玉、ヨーヨーなど）、折り紙の3つのグループに分かれて、生徒に教えた。中には、折り紙をそのまま景品にしたり、日本のお菓子を景品などにした。 90人程度
タイの伝統のお菓子と竹細工を実際につくることができた。20人程度
タイの民族衣装を着て、タイの文化の踊りをみんなで行った。 30人程度
- ・ボランティア活動
ベンチや看板のペンキ塗りや砂利の設置
ミミズの肥料作り
植物の鉢の掃除と水やり装置の設置、すべて体験型のアクティビティ

タイ・ボランティア KMITL 留学報告書

[3] 課外活動・研修旅行・余暇の過ごし方について教えてください。

・タイの文化や風習を理解するために、アユタヤ・バンコク・スパンブリーの寺院巡りをした。フリータイムの日にはワット・アルンなどの美しい寺院を訪れ、タイの仏教文化に触れることができた。タイ人の友人がそれぞれの寺院の歴史や意味を教えてくれたので、より深く理解することができた。そこでは、みんな民族衣装を着て様々な場所で写真を撮ることができたため貴重な経験ができた。

・アユタヤの遺跡群は非常に印象的だった。特に、ワット・マハタートの仏頭が木の根に包まれている光景は、神秘的で心に残った。歴史を感じさせる壮大な建築物が多く、かつての栄華を想像しながら散策するのはとても興味深かった。

[4] 派遣先でよく使った施設について教えてください。(図書館、学生会館、スポーツ施設等)

- ・学校敷地内のカフェ
- ・コンビニ

[5] 宿舎（寮やホームステイ）での生活について教えてください。

部屋：寮 1 部屋 2 人で使用 学校滞在中 1 部屋 10 人

様子：寮では、カードキーが3つあり、セキュリティの面では申し分ないと感じた。寮の中が広く2人では十分な広さだった。スーツケースも大きく広げることができ、一人一つの机がとてもよかった。冷蔵庫や収納スペースが大きくとても使い勝手がよかった。寮の目の前にセブンイレブンが24時間やっており、利便性がとてもよかった。

学校滞在中では、大部屋だったため、みんなでお菓子パーティーやゲームをしながら和気あいあいとした生活が送れた。

[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

● 楽しかったこと：

・タイ料理を楽しむことも大きな魅力だった。日本にはめったにない屋台で買い食いすることができたのがとても楽しかった。様々な国の屋台があり、日本の寿司が売っていたときは、びっくりしました。時には、ミシュランを取っている場所にも連れて行ってくださり、タイでミシュランのご飯を食べれたことが、貴重な経験となった。カオマンガイやパッタイなどの地元の料理を味わうことができた。

・タイの伝統文化を肌で感じるができ、とても貴重な経験をすることができた。

・タイでの楽しい経験は多岐にわたり、素晴らしい思い出がたくさんできた。タイの人々の温かさや文化の豊かさに触れることで、心に残る素晴らしい時間を過ごすことができた。

タイ・ボランティア KMITL 留学報告書

● 苦労したこと：

- ・学校滞在中のシャワーが水しか出なくとても冷たかったため、工夫しながら入っていた。
- ・言語の壁が大きな課題だった。タイ語は独特の発音を持っており、特に、市場の人々と直接会話をする際には、基本的なフレーズを覚えるのに苦労した。英語もタイの訛りが入っていたため、聞き取れないこともしばしば。
- ・食文化に関して、最初は辛さに戸惑った。タイ料理は非常にスパイシーなものが多く、辛いものが苦手な私にとっては、現地のタイ人が辛くないと言っても辛かったりしたので、ご飯を食べる際に注意が必要だった。

[7] 留学の成果について教えてください

1) 語学力の向上：

- ・タイ人の友人を作り、実際に会話することで、語学力を向上させることができたと思う。実践的な会話の機会を与えられていたため、「タイではこのような言葉になるよ」とその都度教えてくれた。英語とタイ語、日本語と3カ国語を使う機会がなかったため、とても新鮮な気持ちだった。時には、言語交換アプリを使って、タイ人と会話することがあったため、実践的なコミュニケーション力を向上させることができた。

2) 専門知識の向上：

- ・タイの文化について何も知らなかったため、専門知識は飛躍的に向上したといえる。タイの歴史博物館に行った際、長い歴史を持つ国であることがわかり、どのようにして誰が国を作っていたかのビデオがとても分かりやすかった。その博物館には様々な物が展示されていた。他に、寺院や祭りが日常生活に深く根付いていると感じるくらい様々な場所に寺院があった。そのため仏教の影響を強く受けていると感じた。また、タイの伝統的な舞踊や音楽、工芸品も文化の重要な一部である。
- ・タイ料理は、甘味、酸味、辛味、塩味のバランスが特徴。主にココナッツを使っている製品が多くカレーからお菓子など幅広いところで使われていることが印象的だった。

3) 自己成長など

- ・タイでの生活を通じて、異なる文化や価値観に触れることができた。地元の人々との交流することで、伝統的な祭り、習慣を体験することで、視野が広がり、柔軟な考え方が身についた。
- ・英語以外の言語として、タイ語を学ぶことで、コミュニケーション能力が向上や協調性が向上し、人間関係の大切さを学ぶことができた。言語を学ぶ過程で、忍耐力や努力の大切さを実感し、自己成長につながる。また、言語を通じて新しい友人を作ることでもでき、社会的なスキルも向上すると考える。その過程で多様なバックグラウンドを持つ人々と出会うことができる。その人たちから刺激を受けて、もっと自分のスキルがステップアップすることができると感じる。

タイ・ボランティア KMITL 留学報告書

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

- ・行きたい国や大学について徹底的に調べる。プログラム内容、授業のスタイル、生活費、文化など、さまざまな情報を集めることが重要。タイは、ボランティア活動をする訪問先の学校が毎年変わるらしいので、一概には言えない。そのため、情報はその都度確認することが大切。
- ・日本のお菓子を多めに持っていく。現地の学生から物をたくさんもらうので、その時のお返しとして持って行って損はない。みんなに配れそうなものが好ましい。
- ・言語を単語でも覚えておく。今回は、ローカル市場に行くことが多かったため市場で使えるような単語を覚えていくと楽。
- ・最初は不安かもしれないけど、とっても楽しかったので行ってよかったと感じた。

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

項目※詳しく記入して下さい	金額（当時の日本円）
渡航費（旅行会社に支払った経費）	20万
授業料以外の諸経費（教材費・課外活動・保険料等）	2万
私生活における諸経費（食費・交通費・洗濯費等）	1万5千
現地からの奨学金がある場合	0
お土産代や個人的な買い物	1万5千
その他（ ）	0
留学に関する費用の総額	25万

海外派遣留学生

タイ・ボランティア KMITL

留学報告書

